



平野区では“多世代交流”をキーワードに 人と人との「つながり」や「きずな」を大切にしています

多世代交流のススメ

これまで、皆様のお住まいの地域において、地域活動協議会をはじめ各種団体等のご尽力により、防災訓練やお祭り、こどもの登下校の見守り活動など、様々な場面で世代を越えた交流が進められてきました。これらの交流は、こどもにとっては、孤独緩和・社会性の習得・思いやりの心の醸成、高齢者にとっては、社会参画・認知症の予防・生きがいや楽しみになります。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で困難な面もありますが、様々な世代の人が、一緒に活動したり話をしたりすることは、地域の様々な課題の解決につながります。



多世代交流についてはこちら

問合せ 政策推進課(政策推進)②番窓口 ☎4302-9683

区長メッセージ

この間の新型コロナウイルス感染症対策にあたり、多大なご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

このような状況にある今、これまで以上に人とのつながりは重要性を増しています。従来の交流も大切にしつつ、「新しい生活様式」も前向きに取り入れることで、多世代交流が新たな形で進み、皆様のお住まいの地域における「つながり」や「きずな」がより一層強固になるのではと考えております。

皆様ご自身や大切な人を守るために、そして、皆様の健康を支える医療を守るために、引き続き、適切な感染予防に努めてくださいますようよろしくお願い申し上げます。



平野区長
稲嶺一夫

只今、出水期! 日々の備えが大切です!

梅雨、台風や豪雨等、降水量が多く、洪水が発生しやすい時期となっています。ここ数年、各地では想定外の被害が発生しており、事前の準備が大切です。災害に対する備えを見直してみませんか?

ご自宅や会社のある地域の浸水想定を調べてみる

ネット検索でハザードマップを見る

大阪市 ハザードマップ 検索

避難情報の「警戒レベル」を確認する

大阪市HPを見る (QRコード)



近くの避難所を確認する

防災マップを見る (QRコード)



日ごろからの備えについて

平野区HPを見る (QRコード)



問合せ 安全安心まちづくり課②番窓口 ☎4302-9734

パッククッキング第二弾 (セタそうめん)

-災害時にも役立つ調理法のご紹介-

パッククッキングとは、ポリ袋に材料を入れ、湯せんなどで加熱して料理する方法です。カセットコンロ、鍋、水、ポリ袋があれば調理可能なので、いざというときにも役立ちます。日常生活でも節水、時短、洗い物が少なくなるなどうれしいメリットがいっぱいです!

調理例 パッククッキングで簡単煮込みそうめん

今回は夏にぴったり、2、3年備蓄可能なそうめんのパッククッキング例をご紹介します。

【材料(1人前)】

そうめん…50g
めんつゆ…大さじ1
水…400g

【作り方】

①材料をすべて袋に入れて、麺で袋が破れないように注意しながら結ぶ。
②①を15分間湯せんする

ちょびり

アレンジ セタそうめん

できた煮込みそうめんには切ったオクラやトマト、星形にした人参を加えたり、いろいろな色のそうめんを使うと、セタそうめん!



注意

- ポリ袋は、厚さは0.01mm以上の食品用または高密度のものを使う。
- 湯せんする際はポリ袋に火がつく、溶けるなどを防止するため、お湯の中に袋を入れてください。
- 調理する際はやけどに十分ご注意ください。
- 一つの鍋に入れるポリ袋は三つまで
- 空気を抜きながら高い位置で結ぶのがポイント!

問合せ 安全安心まちづくり課②番窓口 ☎4302-9734